平成２２年度　評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　中学校１年　数学　出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
							数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量，図形などについての知識・理解		
①	1	(1)		数と計算６年	A(3)ウ　分数の除法	分数の除法（約分あり）ができること。			○		○	
②		(2)		数と式　１年	A(1)イ　正の数と負の数の四則計算	正の数と負の数の加法の意味を理解していること。				○	○	
③		(3)		数と式　１年	A(1)イ　正の数と負の数の四則計算	負の数の２乗の計算の意味を理解していること。				○	○	
④		(4)		数と式　１年	A(1)イ　正の数と負の数の四則計算	正の数と負の数の除法の意味を理解していること。				○	○	
⑤		(5)		数と式　１年	A(2)ウ　一次式の加法と減法	文字の項と数の項をそれぞれまとめて簡単にすることができること。			○		○	
⑥		(6)		数と式　１年	A(2)ウ　簡単な一次式の計算	分配法則を使って，数と一次式の乗法及び加法ができること。			○		○	
⑦	2	(1)		数と式　１年	A(2)ア　式の値	文字式に数を代入して式の値を求めることができること。			○		○	
⑧		(2)		数と式　１年	A(3)ウ　方程式を解くこと	一元一次方程式を解くことができること。			○		○	
⑨		(3)		数と式　１年	A(2)イ　文字を用いた式	数量を文字を用いた式で表すことができること。			○		○	
⑩	3	(1)		数と式　１年	A(2)エ　文字を用いた式による表現や読み取り（新）	与えられた条件をもとに，式の大小を考えることができること。		○				○
⑪		(2)		数と式　１年	A(2)エ　文字を用いた式による表現や読み取り（新）	与えられた条件をもとに，式にあう負の数を考えることができること。		○				○
⑫	4	(1)		数と式　１年	A(2)エ　式の意味の読み取り（新）	文字で表された数量の意味を理解していること。				○	○	
⑬		(2)		数と式　１年	A(3)ア　方程式の意味の理解	方程式で表された数量の関係を考えることができること。		○				○
⑭		(3)		数と式　１年	A(3)ウ　方程式の利用	一元一次方程式を立式して解き，問題に適する答を求めることができること。			○			○
⑮	5	(1)		数量関係６年	D(2)ア　比例の意味	表から比例の関係を見いだし，必要な数量を考えることができること。		○				○
⑯		(2)		数量関係６年	D(2)ア　比例の関係	比例の関係を用いて，個数を求める方法を考えようとすること。	○					○
⑰	6	(1)		図形　６年	C(1)ア　縮図の利用（新）	与えられた図から，実際の長さを求めようとすること。	○					○
⑱		(2)		数と式　１年	A(3)ウ　比例式（新）	比例式をつくり，解くことができること。			○			○
⑲	7	(1)		量と測定５年	B(1)イ　円の面積	円の面積を用いて，２つの図形の面積が等しいかどうか調べることができること。		○				○
⑳		(2)		量と測定５年	B(1)ア　三角形の面積	題意にそって，三角形の面積を用い，図形の面積を考えることができること。		○				○